

啓明



啓明通信



学校教育目標

- 将来に希望をもち、豊かな知性を磨く生徒
- 自分に厳しく、他をおもいやる生徒
- ねばり強く、心身をたくましくきたえる生徒

校訓：「独立自往」

今年度実践目標

「みんなが幸せになる学校づくり」

～学校づくりの<主人公>として仲間と共に歩む生徒～

人生の「主人公」として生きる～残り 85 センチをどう生きるか～

校長 市川 恵幸

1. 「あいさつの輪」が示すもの

登校時の玄関ホールで、何十人もの生徒が交わす爽やかなあいさつ。この光景は、私が着任した当初には想像もできませんでした。新型コロナウイルスの影響で、人と心を通わせる大切な「あいさつ」の文化が、一時、マスクの中に封じ込められそうになっていたからです。

あいさつは、人と人をつなぐ最も身近で、最も大切なツールです。教職員が粘り強く呼びかけ、年度初めには保護者の皆様にもお願いする中で、まずはほんの数人の生徒が、礼儀正しく大きな声であいさつを始めました。やがて、その輪は部活動や生徒会へと広がり、今や啓明中学校の学校文化として定着しています。

この変化は、生徒の皆さんが「まず、自ら行動を起こすこと」で、自分たちの力で新しい道を作り出した、素晴らしい実践の証です。この自発的な力が、どれほど大きな変化を生むかということ、皆さんは証明してくれたのです。

2. 人生 100 年時代の「3 センチ」

現代は「人生 100 年時代」といわれます。もし、人生の長さを 1 メートルの定規に例えるなら、これまで生徒の皆さんが歩んできた十数年間は十数センチ。そして、この中学校で過ごす 3 年間は、わずか「3 センチ」に過ぎません。それは、親指の第一関節ほどの、小さな長さに例えられます。

しかし、このわずか 3 センチの中に、かけがえのない宝物が詰まっています。日々の努力、深い友情、新しいことへの挑戦、そして何物にも代えがたい成長の経験です。これらは、皆さんがこれから続く 85 センチ以上の長い人生を歩むための、揺るぎない心の支えとなるでしょう。今、ここでしか得られない貴重な時間を大切に、未来へ向けて力強く歩みを進めてほしいと願っています。

3. 自分の人生の「主人公」として

「あいさつの輪」のが教えてくれたように、人生は、誰かに与えられるのを待つのではなく、自分自身で切り拓いていくものです。皆さんは、自分の人生の「主人公」でなくてはなりません。

これから先、皆さんの前にはさまざまな困難が待っていることでしょう。しかし、困難を乗り越えるたび、人は必ず強く、そして優しくなれます。より大きな成果を得るためには、仲間とともに協力し、歩む姿勢も大切です。しかし、その前提となるのは、「まず、自ら動く」という主体的な視点です。

人生は、待っているだけでは動き出しません。自分の一歩から全てが動き始めます。どんなに小さな一歩でも構いません。まずは一歩踏み出すこと。これが、自分の人生を創造していく上で最も大切なことです。

もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば、それが道となるのだ。(魯迅『故郷』より)

啓明中の生徒の皆さんのますますの御活躍を楽しみにしています。